

問い合わせ先  
総務部 総務課  
総務課長 池田 育穂  
TEL099-250-9800（内線 2110）

平成20年5月28日  
第十管区海上保安本部



## 海上保安レポート2008の発刊について —— 海上保安制度創設60周年記念特集 ——

海上保安レポートは、平成13年に海上保安白書から、レポート形式への変更により誕生し、海上保安業務の最新の情報と今後の展望を、国民の皆様が手にとってみたいと思うような内容、表現になるように努め作成したものです。毎年5月12日の海上保安の日に発刊しています。

### 構成

#### 1 海上保安庁激動の10年

昭和23年の創設以来、60年にわたる当庁の軌跡のうち、平成10年からの10年間の主な出来事を紹介しています。その中には当管内で発生した、平成13年の「工作船事件」、平成18年の「トッピー4の衝突」、平成19年の「漁船幸吉丸とフェリーたかちほの衝突」など、まさに海上保安庁の激動といえる事例が紹介されています。

#### 2 海洋基本法を見据えた海上保安庁の取組み ～新たな海洋立国の実現に向けて～

海洋基本法（平成19年施行）及び海洋基本計画（平成20年3月制定）を基に、当庁の具体的取り組みとして、装備の代替整備や要員の拡充などについて紹介しています。  
（P31に18年に新造配備された、巡視船あかいしの写真が掲載されています。）

#### 3 海上保安庁のあゆみ

昭和23年から平成9年まで当庁に関係する事例を年表形式でまとめ紹介しています。  
その中には、当管区で発生した、昭和56年の「米原子力潜水艦と貨物船日昇丸の衝突」、昭和60年の「不審船追跡事件」などが掲載されています。

### 取扱いについて

- 1 取扱所：官報販売所、政府刊行物取扱書店等（別紙記載）
- 2 価格：税込1000円

# 海上保安レポート 2008 (要旨)

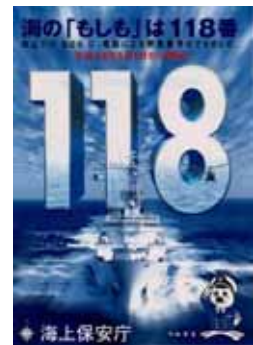
海上保安制度創設 60 周年記念

## 特集1 海上保安庁 激動の 10 年

(p.4 ~ 25)

海上保安庁は昭和 23 年の創設以来、60 年にわたり我が国の海の安全を守っています。そのうち、平成 10 年からのここ 10 年は、緊急通報用電話番号「118 番」の運用開始(同 12 年)や九州南西海域における工作船事件(同 13 年)、練習船「海王丸」座礁海難(同 16 年)、竹島周辺海域における海洋調査(同 18 年)等の事例があり、海上保安庁にとってまさに「激動の 10 年」でした。

ここでは、平成 10 年から同 19 年までに起こった主な事例をピックアップして紹介しています。



## 特集2 海洋基本法を見据えた海上保安庁の取組み

～新たな海洋立国の実現に向けて～

(p.26 ~ 37)

平成 19 年に施行された海洋基本法及び本年 3 月に策定された海洋基本計画により、今後「新たな海洋立国の実現」に向け、様々な取組みが具体化していくこととなります。



海上保安庁は、新たな海洋立国の実現に向けその一役を担っていきます。ここでは、具体的な取り組みとして、巡視船艇や航空機の代替整備や複数クルー制拡充といった体制の充実、海洋に関する情報を整備するための海洋調査、大規模海難ゼロに向けた海上交通の安全施策について紹介しています。

## 特集3 海上保安庁のあゆみ

(p.38 ~ 42)

昭和 23 年からの海上保安庁に関する事例を年表形式でまとめ、これまでの海上保安庁のあゆみを紹介しています。



## 海上保安庁の任務・体制 (p.43 ~ 48)

海上における安全・安心を担う海上保安庁の業務と体制について、その概要を紹介しています。

### 本編 (p.49 ~ 104)

#### 治安の確保 (p.49 ~ 62)

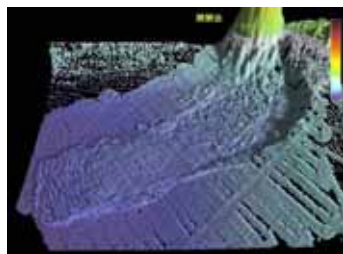
海上保安庁の密輸・密航、密漁など様々な海上犯罪に対する取組みや、海賊、テロ、不審船・工作船対策及び海洋権益保全のための警備活動について紹介しています。

#### 生命を救う (p.63 ~ 70)

海上保安庁の海難救助やマリンレジャーの安全推進のための取組みについて紹介しています。

#### 青い海を護る (p.71 ~ 76)

海上保安庁の海洋環境保全対策や海上環境事犯の摘発について紹介しています。



#### 災害に備える (p.77 ~ 84)

海上保安庁の事故災害対策や自然災害対策について紹介しています。

#### 海を識る (p.85 ~ 92)

海上保安庁が実施する海洋調査や海洋情報の提供について紹介しています。

#### 航海を支える (p.93 ~ 98)

船舶交通環境の維持・向上のための取組みについて紹介しています。

#### 海を繋ぐ (p.99 ~ 104)

海上保安庁における国際的な取組みを紹介しています。

### 目指すは海上保安官 (p.105 ~ 116)

現場での海上保安官の活動を紹介するとともに、どうすれば海上保安官になれるか、その後の進路はどのようなのかを紹介しています。



# 海上保安レポート2008

～十管区関連事項抜粋～

## 1 海上保安庁激動の10年

- ・台湾籍漁船による過去最高（約564.6kg）の覚せい剤密輸入事件（鹿児島県黒瀬海岸）
- ・九州、沖縄サミット 宮崎外相会合における海上警備
- ・九州南西海域における工作船事件
- ・パナマ籍貨物船「COOP VENTURE」号乗揚事故（鹿児島県志布志湾）
- ・九州南西海域における工作船事件の乗組員10名を検察庁へ書類送検
- ・鹿児島県枕崎沖で、超高速旅客船「トッピー4」が流木に衝突、乗員乗客112名全員が負傷
- ・鹿児島県種子島沖にて、まぐろはえ縄漁船「幸吉丸」が貨物フェリー「たかちほ」と衝突



平成13年 工作船事件



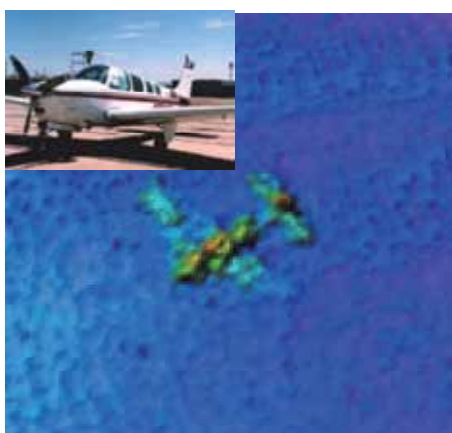
平成19年 漁船幸吉丸衝突

## 2 海上保安庁の任務・体制

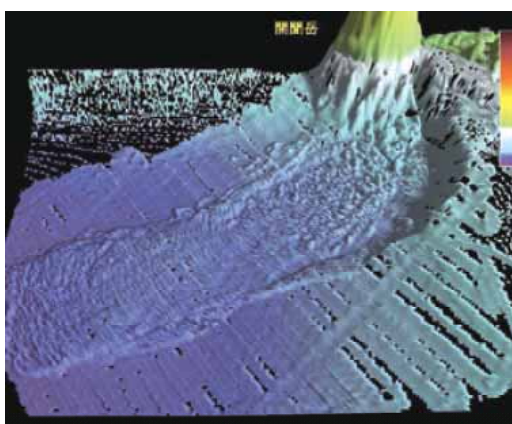
本編 海を識る

海洋調査能力の活用！

海洋調査に用いる最新鋭のマルチビーム音響測深機の活用



平成19年 宮崎県沖に沈んだ  
小型航空機の映像



マルチビーム測深による開聞岳の  
地滑り地形の記録

## 十管内の政府刊行物常備書店

鹿児島県		
書店名	所在地	電話
県庁書店	鹿児島市鴨池新町 10-1	(099)259-1181
紀伊國屋書店 鹿児島店	鹿児島市中央町 1-1 アミュプラザ鹿児島 4階	(099)812-7000
熊本県		
書店名	所在地	電話
金龍堂 県庁店	熊本市水前寺 6-18-1	(096)383-1111
紀伊國屋書店 熊本店	熊本市下通 1-7-18	(096)322-5531
紀伊國屋書店 熊本光の森店	菊池郡菊陽町津久礼 3310 ゆめタウン光の森 2階	(096)233-1700
宮崎県		
書店名	所在地	電話
見聞読タナカ 吉村店	宮崎市吉村町長田甲 2358	(0985)23-5500
田中書店 県庁前店	宮崎市橋通東2丁目 2-4	(0985)24-3511